

Ⅲ 千葉第2キャンパス

1 年間の諸行事・諸活動

2011 (平成23年度) 看護学部 学年暦 [前学期]

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月					
1	金	第47回入学式(学部合同) 於：文京シビックホール 午前11時		1	水		1	金		1	木	前学期定期試験 基礎看護学実習Ⅰ(1年次生)			
2	土	1年次生学生証配布・資料配 布・リエンテーション /1・2年次生健康診断		2	月	振替休日(昭和の日)	2	土		2	火	前学期定期試験			
3	日		3	火	祝日(憲法記念日)	3	金		3	水	前学期定期試験	3	土	再試験期間(千葉C)	
4	月	1年次生リエンテーション・ユニフォーム採寸 /3・4年次生健康診断/3・4年次生 教科書販売		4	水	祝日(みどりの日)	4	土	協賛会総会(予定)	4	月		4	日	
5	火	2年次生リエンテーション /1・2年次生教科書販売		5	木	祝日(こどもの日)	5	日		5	火		5	月	再試験期間(第2C) (1・2・4年次生)
6	水	3・4年次生オリエンテーション		6	金		6	月		6	水		6	土	授業予備期間 図書室夜間開室終了 ↓ 前学期授業終了
7	木	前学期授業開始/図書室夜間 開室開始(～8/5まで) 前学期履修登録開始		7	土	就職個別相談会	7	火		7	木	孟蘭盆会(午前休講)	7	日	オープンキャンパス③
8	金		8	日			8	水		8	金		8	月	追試験日程発表(第2C)
9	土		9	月	総合実習(4年次生)	9	木		9	土			9	火	追試験期間(第2C)
10	日		10	火		10	金	1年次生B型肝炎ワクチン接種②	10	日			10	水	追試験日程 発表(千葉C)
11	月		11	水		11	土		11	月	千葉キャンパス期末試験期間 (予定)		11	木	
12	火		12	木		12	日		12	火			12	金	追試験期間(千葉C)
13	水		13	金	1年次生B型肝炎 ワクチン接種①	13	月		13	水			13	土	
14	木		14	土		14	火		14	木	(午後休講)		14	日	
15	金	履修登録締切(12:00終了)		15	日		15	水		15	金		15	月	再試験対象者・日程発表 (第2C)
16	土		16	月		16	木	教授会	16	土			16	火	再試験期間(第2C)(3年次生)
17	日		17	火		17	金		17	日	オープンキャンパス②		17	水	再試験申込締切(第2C) /再試験対象者への 指導期間
18	月		18	水		18	土	法然上人八百年大遠忌(大巖寺) 建学式・教職員特別研修会	18	月	通常授業(海の日)		18	木	
19	火	履修登録変更期間		19	木	教授会	19	日	オープンキャンパス①	19	火		19	金	
20	水		20	金			20	月		20	水		20	土	
21	木	教授会		21	土	協賛会評議員会(予定)	21	火		21	木	教授会	21	日	オープンキャンパス④
22	金	降誕会(午後休講) 新入生セミナー		22	日		22	水		22	金		22	月	
23	土	創立記念日		23	月		23	木		23	土		23	火	
24	日		24	火			24	金		24	日		24	水	成績発表
25	月		25	水			25	土		25	月		25	木	
26	火		26	木			26	日	地域オープンキャンパス	26	火		26	金	再試験申込締切(千葉C)
27	水		27	金			27	月		27	水		27	土	
28	木		28	土			28	火		28	木		28	日	
29	金	通常授業日(昭和の日) (午前休講)		29	日		29	水		29	金		29	月	臨地実習開始(3月9日まで) (3年次生)/図書室夜間開室 開始(～12/22まで)
30	土	創立記念日の振替日		30	月		30	木		30	土		30	火	
			31	火			31	日		31	日		31	水	再試験日程発表(千葉C)

2011 (平成23年度) 看護学部 学年暦 [後学期]

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	土	1	火	1	木	1	日	1	水	1	木
				成道会(午後休講)		祝日(元日)		授業予備期間 基礎看護学実習Ⅱ (2年次生前半グループ)		卒業生発表(4年次生)	
2	日	2	水	2	金	2	月	2	木	2	金
								追試験日程発表(第2C) /後学期授業終了			
3	月	3	木	3	土	3	火	3	金	3	土
			祝日(文化の日)					追試験期間(第2C) A方式1次入試			
4	火	4	金	4	日	4	水	4	土	4	日
								追試験日程発表 (千葉C) A方式1次入試			
5	水	5	土	5	月	5	木	5	日	5	月
						学園賀詞交歓会					
6	木	6	日	6	火	6	金	6	月	6	火
						新年授業開始					
7	金	7	月	7	水	7	土	7	火	7	水
								追試験期間(千葉C)		再試験期間(第2C)(2年次生)	
8	土	8	火	8	木	8	日	8	水	8	木
				(午前休講)				↓		↓	
9	日	9	水	9	金	9	月	9	木	9	金
						祝日(成人の日)				図書室夜間開室終了 /臨地実習終了(3年次生)	
10	月	10	木	10	土	10	火	10	金	10	土
通常授業(体育の日)				A0Ⅱ期入試		振替休日(体育の日)				A0Ⅲ期入試	
11	火	11	金	11	日	11	水	11	土	11	日
								祝日(建国記念の日) A方式2次入試			
12	水	12	土	12	月	12	木	12	日	12	月
13	木	13	日	13	火	13	金	13	月	13	火
			推薦入試					基礎看護学実習Ⅱ (2年次生後半グループ)			
14	金	14	月	14	水	14	土	14	火	14	水
						大学入試センター試験		再試験対象者・日程発表 (第2C)			
15	土	15	火	15	木	15	日	15	水	15	木
				教授会		↓				第44回卒業式 卒業記念パーティー	
16	日	16	水	16	金	16	月	16	木	16	金
								再試験申込締切(第2C)			
17	月	17	木	17	土	17	火	17	金	17	土
			教授会					成績発表(1・4年次生)			
18	火	18	金	18	日	18	水	18	土	18	日
			1年次生B型肝炎抗体価検査					再試験申込締切(千葉C)			
19	水	19	土	19	月	19	木	19	日	19	月
				千葉キャンパス期末試験期間 (予定)		教授会					
20	木	20	日	20	火	20	金	20	月	20	火
	教授会									祝日(春分の日)	
21	金	21	月	21	水	21	土	21	火	21	水
	1年次生B型肝炎ワクチン接種③							再試験期間(第2C) (1・4年次生)			
22	土	22	火	22	木	22	日	22	水	22	木
				年内授業終了 /図書室夜間開室終了				再試験日程発表 (千葉C)		教授会	
23	日	23	水	23	金	23	月	23	木	23	金
			祝日(勤労感謝の日)			千葉キャンパス期末試験期間 終了(予定)		教授会		成績発表(2・3年次生) 進級発表(1・2・3年次生)	
24	月	24	木	24	土	24	火	24	金	24	土
						後学期定期試験		再試験期間(千葉C)		オープンキャンパス (学びフェア)	
25	火	25	金	25	日	25	水	25	土	25	日
						後学期定期試験		↓			
26	水	26	土	26	月	26	木	26	日	26	月
						後学期定期試験					
27	木	27	日	27	火	27	金	27	月	27	火
						後学期定期試験					
28	金	28	月	28	水	28	土	28	火	28	水
	龍澤祭準備のため休講										
29	土	29	火	29	木	29	日	29	水	29	木
	龍澤祭 オープンキャンパス⑥										
30	日	30	水	30	金	30	月	30	月	30	金
	龍澤祭 オープンキャンパス⑦ ホームcomingデー					後学期定期試験 基礎看護学実習Ⅱ (2年次生前半グループ)					
31	月			31	土	31	火			31	土
	龍澤祭後片付け(休講)					振替休日(敬老の日)		↓			

・千葉東病院との連携強化

千葉東病院と淑徳大学看護学部の連携を深め、相互の発展に貢献することを目的として連絡協議会が設けられており、5月25日と10月13日の2回、定例会議を開催した。議題のひとつは、本学学生の千葉東病院への就職に関してであり、病院の実習指導体制の充実により、就職を希望し千葉東病院奨学金を受ける希望者が増加傾向にあることが確認された。また、8月に病院主催で、実習開始前の3年次生と病院スタッフとの情報交換会が行われた。

・牧野先生特別講義

毎年特別講義の形で、本学部客員教授・国立療養所邑久光明園名誉園長の牧野正直先生のハンセン病に関する講演が2年次生を対象に開講される。今年度は「ハンセン病問題のこれから」という題で、ハンセン病の患者がたどった悲惨な歴史、「らい予防法」の持つ意味と廃止の意味、2009年に施行された「ハンセン病問題基本法」の意義にも言及した。

ハンセン病患者本人による貴重な体験談は、学生たちの医療への姿勢に大きな影響を与えたと思われる。そして、これから議論される療養所の将来構想は、どこまでも入所者中心のものでなくてはならない。入所者の尊厳が重んじられ、安全で充実した療養生活が遅れることが大前提であるとしめくくられた。

・入学前準備セミナー・保護者説明会

開催の主な目的は、入学予定者に対しては年々低下している理科系の基礎学力の強化、保護者に対しては、奨学金やキャリア支援などの案内を行い、入学後にスムーズに学習が進行することを支援することである。特に、理科系科目は、高校での履修内容や受験科目によって学生間の入学時の学力に差があることが判明してきている。そのために年内に入学が決まったA0Ⅰ期、A0Ⅱ期、推薦入試で合格した入学予定者に対して12月23日（金）にセミナーを開催した。当日は115名の対象者のうち112名の入学予定者と120名の保護者が参加した。入学予定者には化学と生物の基本的な知識の理解力を問うテストを行い、採点後に解説、採点、個人面接を実施し、学習が不十分と思われる範囲を明確にする指導を行った。また、在学生在が入学準備や入学後のことについて、アドバイスをを行った。

・ハラスメント研修

平成23年6月16日（木）にハラスメント研修を開催した。大澤准教授より「淑徳大学ハラスメント防止ガイドライン」が作成され、平成23年4月1日付で施行されたこと、およびガイドラインの趣旨、ハラスメントの定義、解決方法、ハラスメントに対応する組織と役割について、具体的な例も一部あげながら説明された。

また、ハラスメント防止・対策に関する規程により、全教職員を対象に千葉キャンパスと合同の研修会を平成24年3月29日（木）に開催した。研修会は、エイチ・シーサービス(株)より派遣された講師により、セクハラ、パワハラ等に関する事項の講演とロールプレイが行われた。

・ホームカミングデー（卒業生の集い）

平成23年7月30日（土）に、淑徳大学同窓会の協力をいただき、卒業生のアフターケアを目的とした「淑徳大学看護学部 卒業生の集い（1期生）」を開催した。参加者は、

東日本大震災のため卒業式が中止になった影響もあり、当初の予想を大きく上回り 66 名(全体の 74%) もの卒業生が参加した。卒業後 4 ヶ月たち、仕事での壁に当たり、悩みもでてきている頃でもあり、講演は江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授の隈本邦彦先生に「患者の権利擁護者（アドボケート）としての看護職～看護職は何を守るのか～」という演題で、卒業生に元気を与える講演をしていただいた。情報交換会では、希望する領域別に別れて、職場や進学先での悩み等に教員がケアを行なった。

2 教育活動

・卒業式表彰者

理事長賞

看護学科 A8N085 松本 有加 (マツモト ユカ)

総代

看護学科 A8N034 越川 裕梨 (コシカワ ユリ)

浄土宗門主賞

看護学科 A8N020 小倉 和樹 (オグラ カズキ)

一般社団法人日本私立看護系大学協会会長表彰

看護学科 A8N072 濱田 智奈美 (ハマダ チナミ)

・実習等実施状況

(人)

学部	実習科目	単位	時間数	開講年次	実習先	人数
看護学部	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	1年次	病院	105
	基礎看護学実習Ⅱ	2	90	2年次	病院	102
	成人看護学実習Ⅰ	3	135	3年次	病院	107
	成人看護学実習Ⅱ	3	135	3年次	病院	105
	老年看護学実習	4	180	3年次	病院、診療所、介護老人福祉施設、グループホーム等	104
	母性看護学実習	2	90	3年次	病院、診療所	104
	小児看護学実習	2	90	3年次	病院、特別支援学校	101
	精神看護学実習	2	90	3年次	病院	104
	地域看護学実習	2	90	3年次	市区町村保健センター、保健所等	103
	在宅看護学実習	2	90	3年次	訪問看護ステーション	101
	総合実習	3	135	4年次	病院、診療所、介護老人福祉施設、グループホーム、助産所、市区町村、訪問看護ステーション等	95
計 (のべ数)						1,131 (※)

※ 留年生を含む

・資格取得等状況

1. 国家資格の取得状況 平成22年度・平成23年度 (人)

資格名称/年度	平成22年度			平成23年度		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
1. 看護師国家試験合格者	89	88	98.9%	95	95	100%
2. 保健師国家試験合格者	64	51	79.7%	73	59	80.8%

2. 資格取得支援講座等実施状況 (人)

講座名	平成22年度 受講者	平成23年度 受講者
看護師国家試験対策講座（実力養成講座）	81	93
看護師国家試験対策講座（直前対策講座）	89	92
保健師国家試験対策講座（集中講座）	76	66
公務員対策講座（実力養成講座）	5	—
公務員対策講座（直前対策講座）	16	20

・卒業生の進路状況

1. 看護学部

平成23年度における卒業生数は95名であり、このうち就職希望者数95名、就職内定者数95名で、就職率は100%となった。尚、進学した者はいなかった。

看護学部卒業生の進路状況 平成24年3月卒業 (人)

項目	看護学部			
	H22年度	H23年度	増減	
①卒業生	89	95	106.74%	
②就職希望者	85	95	111.76%	
就職希望比率②/①	95.50%	100%	△4.5%	
内訳	③就職内定者	85	95	117.76%
	(③/①) %	95.50%	100.00%	△4.5%
	(③/②) %	100%	100%	0
	④就職活動継続者	0	0	0
⑤就職を希望しない	3	0	▲3	
内訳	大学院進学	0	0	0
	大学専攻科進学（助産学）	1	0	▲1
	専門学校進学（助産師）	2	0	▲2
	進学再受験	0	0	0
	その他	0	0	0
⑥就職の意思無し	1	0	▲1	
⑦不明	0	0	0	

2. 教員・公務員試験合格者数 看護学部 (人)

	22年度	23年度
公務員試験（保健師）	2	2

・卒業生の就職先

病院

国立病院機構千葉東病院、東京共済病院、船橋市立医療センター、東京通信病院、国立国際医療センター国府台病院、東京都済生会中央病院、総合病院国保旭中央病院、東京女子医科大学東医療センター、駿河台日本大学病院、千葉市立海浜病院、日本医科大学千葉北総病院、東京女子医科大学病院八千代医療センター、千葉中央メディカルセンター、津田沼中央総合病院、東京臨海病院、自治医科大学さいたま医療センター、千葉県救急センター、東邦大学医療センター佐倉病院、千葉社会保険病院、千葉済生会習志野病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、みつわ台総合病院、医療法人鉄焦会亀田総合病院、九十九里ホーム病院、小張総合病院、JA 長野厚生連篠ノ井総合病院、多摩総合医療センター、青海市立総合病院、東京大学医学部附属病院、慶応病院、東京慈恵会医科大学附属第三病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、日本赤十字社医療センター、東京北社会保険病院、東京厚生年金病院、三田病院、飯田市立病院、医療法人誠友会佐守医院、国際親善総合病院、国立病院機構仙台医療センター、静岡赤十字病院、石心会狭山病院、東海大学医学部付属病院、戸田中央病院、独協医科大学越谷病院、松山ベテル病院、みさと健和病院

公務員（保健師）

御宿町役場、長南町役場

企業分野

なし

・カリキュラムの変更

看護学部開設以降4年間の教育課程を見直すとともに、基礎教育科目に関しては総合福祉学部、コミュニティ政策学部と共通したものに改編すること、また指定規則の改正に伴い保健師課程科目の改編および実習スケジュールの検討が必要となり、平成24年度入学生のカリキュラムについての改正を行い、文部科学省の承認を得た。それに伴い、保健師課程に関する規程、および臨地実習に関する規程を改正した。

・教育向上推進（FD）活動

教育向上推進委員会では、本年度も教育向上推進要領に定められている3つの事業を中心に、年度毎の目標として次の4項目を定め実施した。①教員研修を実施して、建学の精神に基づいた学部の教育方針について確認するとともに、教員相互の共通理解を図ることができる。②「オープンシステムの授業公開」と「モデル授業」を活用し、学生にとって理解しやすく、興味・関心、満足度を高める授業について考え、個々の授業の改善に役立てられる。③教員研修会において、教員が行っている研究成果を共有することができる。④「授業アンケート」の結果について有効な対応を再考する。

FD活動の成果を掲載する報告書では、各教員の授業改善に結びつけられるようにレーダーチャートや棒グラフなど視覚的な方法を取り入れるとともに、課題が見えてくるように

表示法を工夫した。授業アンケートについては、全科目、全教員（助手を除く）を対象として行えるよう内容・方法を一部変更して実施した。研修会ではグループディスカッションを取り入れたことで教員相互の意見交換の場となった。また新企画の研究活動報告会は研究成果の共有化のみならず相互研鑽の場となった。本年度は主たる3事業の他に、学部
の共有フォルダ上で「学生及び教育体制の現状調査」を実施し、今後重点的に取り組む課題や方向性を考えるための方策として教員から多様な考えを聞き取り集約した。これらは次年度の課題の一つとして取り組みたい。

・国試対策・就職支援

1. 国家試験対策

看護師国家試験合格率100%を目標に、模擬試験の受験、外部業者による国家試験対策講座、および学力不振者に対する指導が主な国家試験対策内容である。具体的には、業者による全国規模の模擬試験を1年間に5回実施した。試験当日に自己採点を行い、学生自身が試験直後に結果を知ることにより、その後の学習計画に生かせるようにした。また自己採点の結果で成績が振るわない学生に対しては、勉強法や学習計画の確認などについて集団で指導した。その中で特に成績下位の学生に対しては、キャリア支援委員による面談を実施し、個別の課題を学生と共に考え細かく指導した。また外部業者による国家試験対策講座を、前学期には6月～7月、後学期には11月～1月に実施した。特に後学期においては、学内教員の協力を得て、学生の希望する領域の対策講座も行っている。さらに国家試験に備え生活リズムを整えるために、週2回の登校日を設け、上記の講座や自主的な学習を取り入れていった。

保健師国家試験対策においても、前年度より合格率をあげるべく、外部業者による対策講座および学内教員による講義を積極的に取り入れていった。学内の模擬試験も3回実施している。

2. 就職支援

新年度のオリエンテーション時にキャリア支援ガイダンスおよび進路希望調査を実施した。また5月7日には県内の実習施設を中心とした就職個別相談会を学内で開催した。千葉県内の就職を積極的に勧めつつ、基本的には学生の希望を取り入れながら就職の支援を行った。9月末には殆どの学生が就職希望先より内定を得ることができた。また保健師就職希望者に対しては、地域看護学領域の教員による就職試験対策を頻繁に実施した結果、男子学生1名を含む2名の学生が千葉県内の市町村保健師として内定を得ることができた。

3 研究活動

・科学研究費補助金等の受給状況

1. 平成 23 年度日本学術振興会科学研究費補助金

看護学部

(単位千円)

研究種目	研究者	区分	課題内容	平成 23 年 直接／間接
若手研究 B	伊藤 奈津子	新規	乳児期の母親に対する『携帯メール』を用いた育児支援プログラムの構築	700／210
基盤研究 C	小板橋恵美子	継続 繰越	下肢障害のある人の住宅選択・確保の過程から分析した住宅支援施策の課題	107／0
基盤研究 C	小板橋恵美子	継続	下肢障害のある人の住宅選択・確保の過程から分析した住宅支援施策の課題	600／180
基盤研究 C	小川 純子	分担	小児心臓カテーテル検査・治療後の安全・安楽のための看護ケアガイドライン	500／150
挑戦的 萌芽研究	岩崎 紀久子	分担	終末期医療で看護師が体験する困難 —患者の自己決定を支えるためのケアをめざして—	175／52.5

2. 平成 23 年度文部科学省科学研究費補助金

看護学部

該当者なし

・学位の取得状況（平成 21～23 年度）

2009（平成 21）年度

鶴岡 章子	2009 年 3 月	千葉大学	博士（看護学）	在日フィリピン女性の妊娠、出産および育児におけるジレンマの構造
-------	------------	------	---------	---------------------------------

2010（平成 22）年度

大澤千恵子	2010 年 9 月	山梨大学	博士（医科学）	患者の心臓手術決断および術後回復のプロセスと医療者の役割
-------	------------	------	---------	------------------------------

2011（平成 23）年度

該当者なし

・紀要第 4 号の発刊

看護学部紀要第 4 号が発刊された。平成 23 年に看護学部の学生と近隣の方との「地域オープンキャンパス」が開催された報告および東日本大震災直後の PTSD を扱った論文や、在宅後期高齢者を対象とする「生きがい交流会」などの論文が掲載された。また、医学中央雑誌へ原著論文の抄録の掲載に向け準備が始まった。

4 社会貢献活動

・千葉東病院、下志津病院の看護研究指導

千葉東病院における研究指導は、6つの病棟を対象に実施した。今年度は研究に関する全体のコーディネートと講義は田代准教授が担当した。また、各病棟の指導は担当教員（田中教授、柴田講師、小坂橋講師、小野助教、石附助教）が病棟と日程調整をはかりながら随時実施した。また本学において図書室司書の協力を得て「文献検索の演習」を下志津病院と合同で行った。2月には中間発表を行い、6つの病棟全ての発表を行った。

下志津病院では、下志津病院看護部と当大学看護学部（2011年度）看護学科との間の取り決めにより看護研究協力を行った。病院の看護研究指導の流れに沿って初年度の対象者には研究スタートに向けて当大学の担当教員および職員が3回の講義を受け持った。また、研究2年目以降の対象者には複数の研究課題について年度末の病院内の研究発表に向けて各担当グループの研究計画の立案、実施に助言を行った。

・千葉東病院の看護師研修指導

看護学科では、国立病院機構千葉東病院との緊密な連携の一環として、看護師研修を毎年担当している。今年度も卒後1年目看護師研修の「フィジカルアセスメント」と、卒後3年目看護師研修の「コミュニケーション」を、大谷則子専任講師が担当した。卒後1年目看護師研修では、患者の基本的な観察技術を、状況に合わせたフィジカルアセスメントの活用を通して意味づけることを中心に、講義と演習を行った。卒後3年目看護師研修では、医療チームの一員として他職種と円滑に連携を図るために、アサーティブコミュニケーションを中心とした基礎的知識の講義と、事例のグループワークを実施した。

また、3年目になるジェネラリスト研修「看護倫理」を鈴木教授が担当した。平成23年度の研修目標は「臨床の倫理的問題に気づき、表現することができる」であり、6月15日に看護倫理についての講義を行った後、12の病棟・外来ごとに部署内での倫理的問題について問題提起し、問題の共有、解決への取り組みを行い、結果を発表した。これまで担当者のみが課題に取り組んでいる印象があったが、部署のスタッフ全体を巻き込んだ取り組みになったと感じられた。

・地域オープンキャンパスの開催

学祖による「地域に開かれた大学」の理念のもと、本学看護学部と千葉市社会福祉協議会・松ヶ丘地区部会を中心とした地域連携・地域貢献が進められている。その活動の一環として、2011年6月26日（日）10～16時「地域オープンキャンパス・ナーシングフェスタ 2011 近隣の方とのふれ愛を求めて」が、第2キャンパスで開催された。当日は松ヶ丘地区の皆様との協力を得ての模擬店、地区の皆様による出し物、近隣の施設よりの展示、近隣の幼稚園児による歌や絵画の展示、熊谷千葉市長や教員の講演、学生による手浴、胎児体験などが催され、新設の栄養学科のコーナーも設けられた。当日は約180名の一般の来場者と、大巖寺幼稚園68名による歌の出演があった。来場者へのアンケート集計（107名）によると、89名が主として松ヶ丘、仁戸名地区よりであった。対応や開催に関して、約100名が満足～大変満足と答えていた。

共同研究プロジェクト推進委員会より提案され、平成22年5月より開催へ向けてのワーキンググループが立ち上がり、学生による企画・実行委員が決まり、学生・教職員全員参加を目標に、学生主体で大学を挙げた催し物となることが確認された。平成23年度に入り、

アドバイザーグループ毎、領域実習毎に開催へ向けて動きが急速に進展した。過密なスケジュールの中での準備や、連絡体制の不備などが重なり、多方面に負担をかけることになったことは反省点である。しかし、地域の皆様よりのねぎらいの声や笑顔は、学生たちに、達成感や学年を超えての交流の楽しさの実感を確実に植えつけることができたと考える。開催後に学生や教員へのアンケートも実施し、学生の 55.8%が次年度の開催に賛成であり、37.6%が反対との結果であった。(参考資料：淑徳大学看護栄養学部紀要 4号 43-50 2012)

・地域課題解決モデル事業への参画

本学部が位置する松ヶ丘地区は少子高齢化が顕著であり、以前から地域活力の低下が危惧されていた。このような経緯から今年度、松ヶ丘地区、本学部、千葉市の3者が協働し、「安心・安全まちづくり」のモデル地区として千葉県より承認された。今年度は次年度の事業に向けた企画を主として、健康・栄養面、防犯、コミュニティカフェなど地域で様々な役割を担う拠点づくりに参画してきた。

5 学生の活動

・千葉東病院クリスマスコンサート、淑徳共生苑ニューイヤーコンサート

開学以来毎年開催し、5回目となる千葉東病院と共催のコンサートを病院体育館において12月20日に行った。1年生の音楽履修者71名が参加し、合唱4曲、ミュージックベル演奏4曲のほか手話ソングも披露し、入院患者さんや家族の方、病棟スタッフの皆さんに喜んでいただいた。また、1月17日には淑徳共生苑ニューイヤーコンサートにおいて、入所者の方やデイサービスに通われている方を対象に、合唱とミュージックベルを披露した。

6 その他

・東日本大震災

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、入学式は学生の安全確保の観点から中止となった。なお、淑徳大学東日本大震災支援ボランティアセンターのボランティアや独自に該当募金活動を行う等、本学部生も積極的に被災者支援活動を行った。

・栄養学科の開設準備

平成23年4月1日より栄養学科設立準備室が開設された。なお、平成23年11月1日より、設置認可申請に伴い新学科開設準備室に変更した。

新校舎の建設は、平成22年より、研究室、実習室、実験室、セミナー室などの配置を決定した。しかし、平成23年3月11日の東日本大震災の発生により、建築資材の不足、作業員の確保の困難など多くの障害があり、進行予定が遅延したが、同24年1月の引渡しに向かって工事が進められ、完成した。厚生労働省の建物および機器備品調査は2月に行われ、万全であるとの評価を受けた。

平成23年10月24日に正式に栄養学科の設置が認可され、12月の中旬にA0入試、公募推薦入試、2月に一般入試、3月にA0II期入試を実施した。